

下野新聞

医師や看護師 在宅医療学ぶ

獨協医大でフォーラム

【壬生】「在宅医療推進

北関東ブロックフォーラム
in 栃木」(同フォーラム

実行委員会主催)がこのほ
ど、北小林の獨協医大で開
かれ、医師や看護師ら約3
40人が参加した。写真。

「地域包括ケアシステム
と病院医療 人生の最終段
階におけるチームケア」が
テーマ。特別養護老人ホー
ム芦花ホーム(東京都)の

石飛幸三医師、沖縄県立中
部病院感染症内科の高山義
浩在宅ケア科医長が講演し



た。

在宅終末期医療に関する
シンポジウムでは、県内外
で活躍する医師や管理栄養
士が登壇。現場で体験した
事例を紹介し、それぞれの
職能を発揮しながら市民や
他職種の人たちとどう連携
できるかを探った。

主催者側を代表し前原
操(まはら)県医師会副会長は「地
域包括ケアシステムの理解
は専門職にも市民にも大
切。このフォーラムが在宅
医療を考えるきっかけにな
れば」と話した。